

問1 関東地方の北西部に位置する内陸県で、県庁所在地を前橋市に置く県はどこですか。この県は東京都から埼玉県を経て長野県へと向かう北陸新幹線の沿線にあり、交通の要所となっています。（2016年 静岡公立入試 類似）

1. 群馬県 2. 栃木県 3. 茨城県 4. 山梨県

問2 1980年から2020年にかけての人口増減を示した資料において、東北地方や四国地方では多くの県で人口が減少しているのに対し、関東地方や近畿地方では人口が増加傾向にある府県が目立ちます。このような地域間での人口動態の差が生じている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 三大都市圏において、進学や就職を目的とした地方からの人口流入が続いているため。 2. 農村部において出生率が急上昇し、都市部を上回る自然増が発生しているため。 3. 政府による地方分散政策により、すべての都道府県に大企業の経営拠点が均等に配置されたため。 4. 地価の安い山間部へ工業地帯が移転したことで、内陸部での雇用が大幅に拡大したため。

問3 明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 富岡製糸場と絹産業遺産群 2. 石見銀山遺跡とその文化的景観 3. 白川郷・五箇山の合掌造り集落 4. 明治日本の産業革命遺産

問4 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 房総半島 2. 能登半島 3. 紀伊半島 4. 渥美半島

問5 近年の東京都における人口動態について、出生数と死亡数の差である「自然増加率」と、転入者数と転出者数の差である「社会増加率」を比較したとき、その特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 社会増加率が自然増加率を一貫して上回っており、他地域からの人口流入が人口増加の主因となっている。 2. 自然増加率が社会増加率を上回っており、主に子どもの誕生によって人口が増え続けている。 3. 自然増加率と社会増加率がほぼ等しい割合で推移しており、バランスの取れた人口増加が続いている。 4. 社会増加率はマイナスであるが、自然増加率がそれを補うほど高いため、全体の人口は増加している。

問6 明治時代に群馬県に設置された旧富岡製糸場が、日本の近代化において果たした役割とその後の評価について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. フランスの技術を導入して高品質な生糸を大量生産する仕組みを整え、外貨獲得に貢献した。その歴史的価値から世界文化遺産に登録されている。 2. 銅の採掘に伴う鉱毒問題を解決するための最新技術を開発する拠点となり、現在は日本の公害対策の歴史を伝える史跡となっている。 3. 戦国時代から続く銀の採掘技術を西洋に伝える窓口となり、東アジアの交易の中心地となった。現在は石見銀山の一部として保護されている。 4. 城郭の中に大規模な紡績工場を併設し、軍事と産業を一体化させた都市開発のモデルとなった。現在は国の重要文化財に指定されている。

問7 関東地方の東京都のような巨大な消費地の周辺において、移動距離の短さを活かし、鮮度が重要となる野菜や鶏卵などを生産・出荷する農業の形態を何といいますか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 抑制栽培 4. 施設園芸農業

問8 関東地方の工業の特色について、千葉県の東京湾岸一帯には大規模な埋立地が広がり、石油精製や化学工業の工場が集まる全国有数の石油化学コンビナートが形成されています。この工業地域を何と呼びますか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯 2. 京葉工業地域 3. 北関東工業地域 4. 鹿島臨海工業地域

問9 茨城県のつくば市（筑波研究学園都市）では、夜間の常住人口（夜間人口）が約22.7万人であるのに対し、仕事や通学のために周辺地域から流入する人々を含めた人口（昼間人口）は約24.4万人に達します。このように昼間人口が夜間人口を上回る要因として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 静岡公立入試 類似）

1. 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため 2. 大規模な工業団地が整備され、製造業に従事する外国人労働者の移住が進んだため 3. 都心部へのアクセスが良いため、夜間に都心から帰宅する社員のベッドタウンとなっているため 4. 歴史的な街並みを保存した観光地が多く、全国から日帰りの観光客が昼間に集中するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 群馬県	関東地方には海に面していない「内陸県」がいくつか存在しますが、その中で最も北西に位置するのが群馬県です。東京都から見て、北側に位置する埼玉県のさらに北西に隣接しており、北陸新幹線や上越新幹線が通る高崎駅などを擁しています。また、県庁所在地は前橋市です。
問2	答え 1 三大都市圏において、進学や就職を目的とした地方からの人口流入が続いているため。	日本の人口動態は、出生数と死亡数の差による「自然増減」だけでなく、移動による「社会増減」が大きく影響しています。関東地方や近畿地方といった大都市圏は、経済活動の中心地であり、教育機関や雇用機会が集中しているため、地方から若年層を中心とした人口流入が継続的に発生し、人口増加や維持につながっています。
問3	答え 1 富岡製糸場と絹産業遺産群	明治政府が設立した官営模範工場である富岡製糸場を中心に、田島弥平旧宅などの養蚕に関わる遺産が含まれます。これらは、日本の生糸を世界に輸出するための技術向上と近代化に大きく貢献しました。
問4	答え 1 房総半島	この地域では地引き網による漁業が発展し、干鰯（ほしか）と呼ばれる肥料（金肥）が多く生産された。これは商品作物の栽培を支える重要な肥料として、西日本を含めた全国へ流通した。
問5	答え 1 社会増加率が自然増加率を一貫して上回っており、他地域からの人口流入が人口増加の主因となっている。	東京都の人口増加の構造は、出生と死亡の差による「自然増加」よりも、進学や就職に伴う他県からの転入超過による「社会増加」の寄与が極めて大きいのが特徴です。多くの地方自治体で人口減少が課題となる中、東京都は利便性や雇用機会を背景に、全国から継続的に人口を吸収し続けています。
問6	答え 1 フランスの技術を導入して高品質な生糸を大量生産する仕組みを整え、外貨獲得に貢献した。その歴史的価値から世界文化遺産に登録されている。	旧富岡製糸場は、明治政府が日本の生糸を国際水準に引き上げるため、フランスから技術者や機械を招いて設立した施設です。ここで学んだ工女たちが全国に技術を広める役割も果たしました。交通網の整備された群馬県という立地も、原料となる繭の調達や製品の輸送に有利に働きました。2014年には、産業の近代化を支えた重要性が認められ、世界文化遺産に登録されています。
問7	答え 1 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭まで並ぶまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問8	答え 2 京葉工業地域	千葉県東京湾岸に位置するこの地域は、大規模な埋立地を利用して石油化学コンビナートが集中して建設されました。そのため、千葉県は製造品出荷額等において、化学工業の占める割合が他の都道府県と比較して非常に高いという特色を持っています。これに対し、神奈川県側は京浜工業地帯と呼ばれます。
問9	答え 1 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため	筑波研究学園都市は、東京の過密解消と科学技術の振興を目的に、国の研究機関や大学を計画的に移転して作られた都市です。そのため、高度な専門知識を扱う職場や教育施設が集中しており、周辺の自治体から多くの研究者、職員、学生が通勤・通学してくることで、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回る特徴を持っています。